

**BOSE**

# ACOUSTIMASS® 300

BASS MODULE



取扱説明書

## 安全上の留意項目

---

**安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。**

### 安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。

### 警告/注意:



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



この製品には強化ガラスが使用されています。取り扱う際には衝撃を与えないようにご注意ください。破損した場合は、割れたガラスで怪我をしないように注意して処理してください。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- ・火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- ・水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- ・火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・許可なく製品を改造しないでください。
- ・インバータ電源は使用しないでください。
- ・車内や船上などで使用しないでください。
- ・この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- ・万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- ・空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- ・製品ラベルは本体背面あるいは底面にあります。

## 規制に関する情報

This device complies with part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

 This product conforms to all applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: [www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance)

 This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements						
Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal Parts	X	0	0	0	0	0
Plastic Parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0

This table is prepared in accordance with the provisions of SJ/T 11364.

O: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement of GB/T 26572.

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement of GB/T 26572.



Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose Corporation はこれらの商標を使用する許可を受けています。

 HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIのロゴはHDMI Licensing, LLCの米国および他の国々における商標または登録商標です。

SoundTouch および音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの登録商標です。

©2016 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

---

## はじめに

エンターテインメントシステムの構築.....	6
内容物の確認.....	6
設置ガイド.....	7

## ベースモジュールのセットアップ

電源に接続する.....	8
SoundTouch® 300 soundbarに接続する.....	9

## セットアップの完了

音が出ることを確認する.....	10
ADAPTiQ® 自動音場補正について.....	11
ADAPTiQ® 自動音場補正を実行する.....	11

## ベースモジュールを使用する

低音を調節する.....	13
--------------	----

## システムの動作状態の確認

システムステータスインジケータ.....	15
----------------------	----

## 補足事項

お手入れについて.....	16
お問い合わせ先.....	16
保証.....	17
仕様.....	17
SERVICE 端子について.....	17

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら.....	18
ADAPTiQ® 自動音場補正を完了できない.....	20

はじめに

---

## エンターテインメントシステムの構築

---

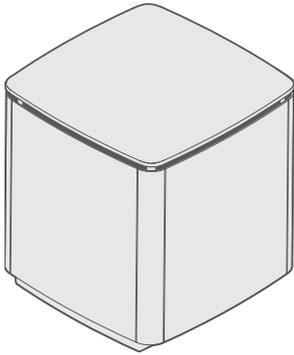
Acoustimass® 300 bass moduleはホームエンターテインメントシステム用機器で、SoundTouch® 300 soundbarおよびオプションのVirtually Invisible® 300 wireless surround speakers (別売)に対応しています。サラウンドスピーカーをワイヤレスで接続して、より豊かで臨場感あふれるサウンドをお楽しみいただけます。

サラウンドスピーカーは、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

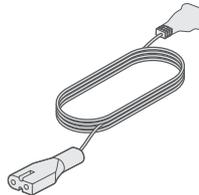
## 内容物の確認

---

箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Acoustimass® 300ベースモジュール



電源コード



3.5 mmステレオ音声ケーブル

**i** 電源コードは2つ以上付属する場合があります。日本用の電源コードをお使いください。

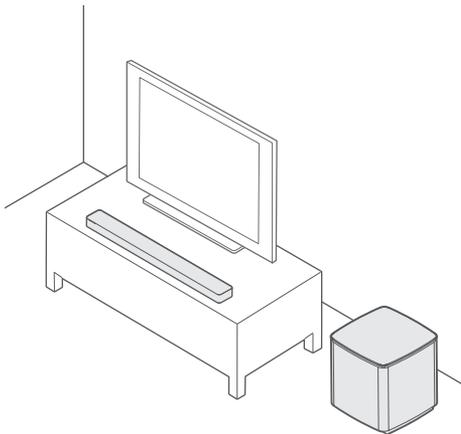
**注:** 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでの使用はお止めください。

## 設置ガイド

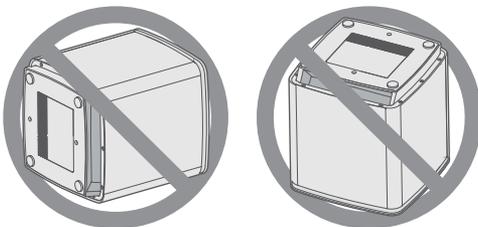
システムは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。

- ベースモジュールにゴム足を取り付けて、テレビと同じ壁に沿って置くか、あるいは左右の壁沿いでテレビの近辺(テレビのある壁から見て部屋の3分の1以内の場所)に置きます。
- 安定した水平な面に設置してください。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でベースモジュールの位置がずれることがあります。
- ベースモジュールの前面(電源コネクタのある側とは反対側)を、壁や家具などから8 cm以上離してください。前面下部にある開口部が塞がれると、音響性能が低下します。
- 低音を強めたい場合は、ベースモジュールを壁や部屋の隅に近づけてください。低音を弱めたい場合は、ベースモジュールを壁や部屋の隅から離してください。
- ベースモジュールの上には物を置かないでください。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。

### システムの設置例



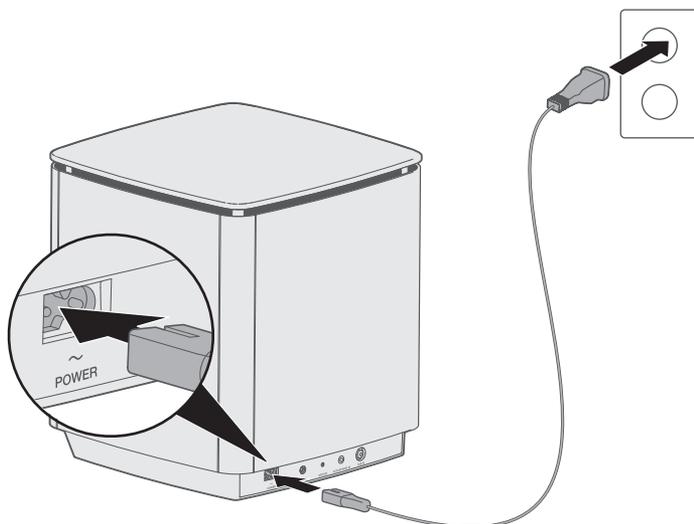
**注意:** ベースモジュールの天面や側面を下にした状態で使用しないでください。



## 電源に接続する

---

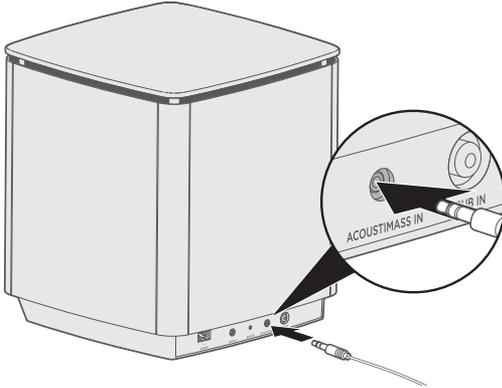
1. 電源コードをベースモジュールの **POWER** 端子に接続します。



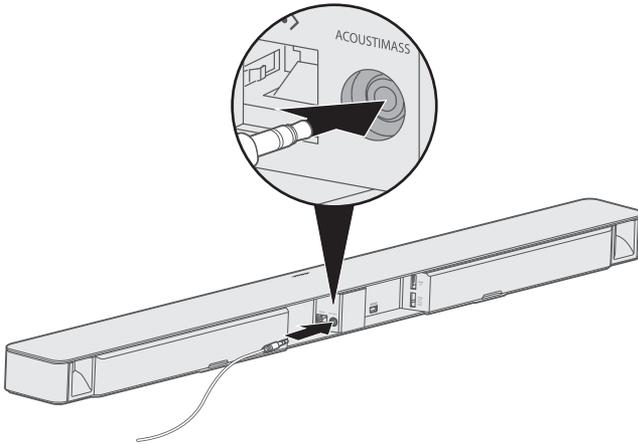
2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。

## SoundTouch® 300 soundbarに接続する

1. 3.5 mmステレオ音声ケーブルの一方を、ベースモジュールの背面にある**ACOUSTIMASS IN**端子に接続します。



2. ケーブルのもう一方を、SoundTouch® 300 soundbarの背面にある**ACOUSTIMASS**端子に接続します。



## 音が出ることを確認する

---

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/衛星チューナーやその他の外部機器を使用する場合：
  - 接続機器の電源をオンにします。
  - 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。SoundTouch® 300のリモコンで外部機器を操作できるように設定していない場合は、外部機器のリモコンをお使いください。
3. SoundTouch® 300 soundbarの電源をオンにします。

接続機器の音がベースモジュールから聞こえます。

**注:** ベースモジュールから音が出ない場合は、「故障かな?と思ったら」(18ページ)をご覧ください。

## ADAPTiQ® 自動音場補正について

ベースモジュールの設置と SoundTouch® 300 soundbar の接続が終わったら、システムの音響性能を最大限に引き出すため、ADAPTiQ® 自動音場補正を実行します。ADAPTiQ 自動音場補正は、システムが設置されている部屋の5箇所で測定を行い、音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

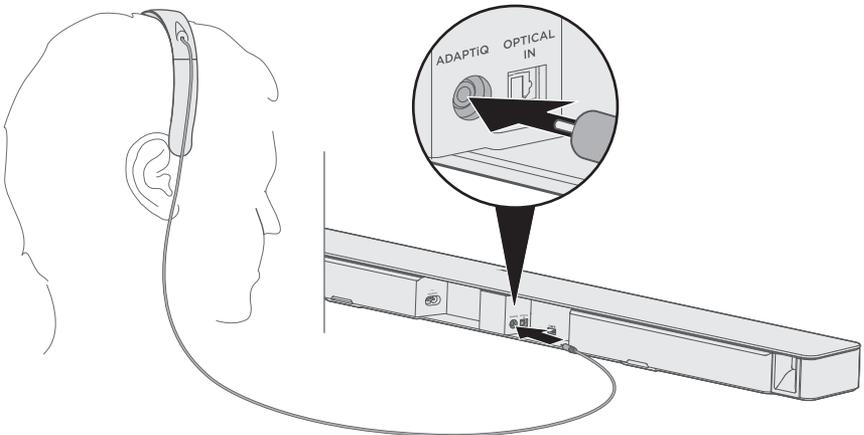
ADAPTiQ 自動音場補正は、最適な音場にするために ADAPTiQ 用ヘッドセット (サウンドバーに付属) に内蔵されたマイクでお部屋の音響特性を測定します。

ADAPTiQ 用ヘッドセットがお手元にはない場合は、カスタマーサービスまでお問い合わせください。

**注:** Virtually Invisible® 300 wireless surround speakers もサウンドバーとペアリングする場合は、ペアリングが終わってから ADAPTiQ 自動音場補正を実行してください。Virtually Invisible® 300 のクイックスタートガイドまたは取扱説明書をご覧ください。

### ADAPTiQ® 自動音場補正を実行する

1. ADAPTiQ 用ヘッドセット (SoundTouch® 300 soundbar に付属) のケーブルをサウンドバーの背面にある **ADAPTiQ** 端子に接続します。

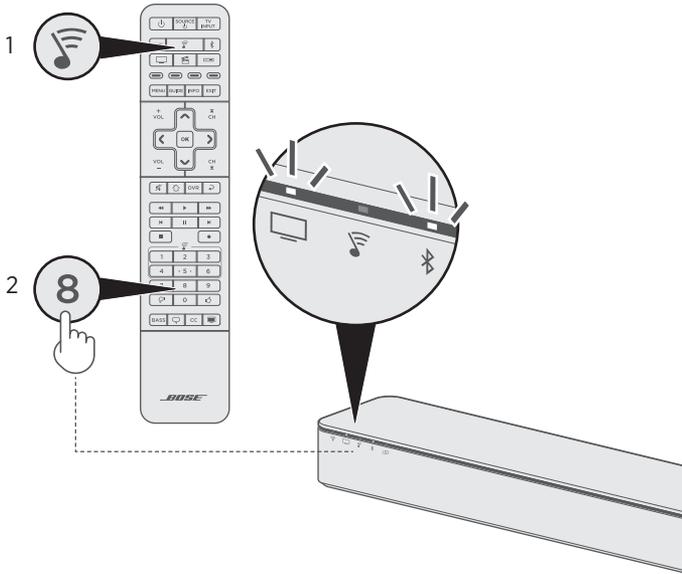


2. ADAPTiQ 用ヘッドセットを頭に装着します。

## セットアップの完了

---

3. SoundTouch® 300のリモコンのSoundTouch® ボタン  を押します。
4. サウンドバーのTVインジケーター  とBluetooth® インジケーター  が緑に点灯するまで **8** ボタンを長押しします。



ADAPTiQ®による自動音場補正が始まります。

**注:** 音声ガイドが日本語でない場合は、ナビゲーションパッドの  ボタンと  ボタンを押して言語を変更します。言語をリセットするには、**8** ボタンを10秒間長押しします。

5. 音声ガイドに従い、ADAPTiQ自動音場補正を完了します。

エラーメッセージが聞こえてADAPTiQによる自動音場補正を完了できない場合は、20ページをご覧ください。

6. ADAPTiQ用ヘッドセットのプラグをサウンドバーから抜き、安全な場所に保管してください。

後でサラウンドスピーカーをペアリングした場合や、システムまたは家具を移動した場合は、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行して音質を調整してください。

## 低音を調節する

SoundTouch® app または リモコンを使用して、システムの低音を調節できます。SoundTouch® app については、SoundTouch® 300 の取扱説明書をご覧ください。

1. SoundTouch® 300 のリモコンの **BASS** ボタンを押します。



現在の低音の設定に応じて、サウンドバーのインジケーターが次のように点灯します。

低音設定	インジケーターの表示
+4	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
+3	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the TV icon.
+2	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
+1	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the TV icon.
0 (デフォルト)	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
-1	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the TV icon.
-2	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.
-3	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the TV icon.
-4	Wi-Fi, TV, Music, Bluetooth, and Link icons with a small square indicator on the Music icon.

## ベースモジュールを使用する

---

2. リモコンで次のように操作します。

- **+** ボタンを押すと、低音の音量が上がります。
- **-** ボタンを押すと、低音の音量が下がります。

3. **BASS** ボタンを押します。

設定内容がサウンドバーに保存されます。

**注:** ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組を最適な音質で楽しむには、「ダイアログモード」を有効にします。詳しくは、SoundTouch® 300の取扱説明書をご覧ください。

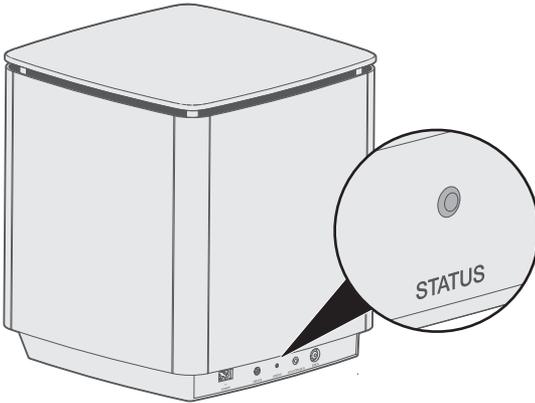
### 低音の設定を元に戻す

サウンドバーのSoundTouch®インジケータ  が2回点滅するまで、リモコンの**BASS** ボタンを長押しします。

低音の設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## システムステータスインジケータ

モジュール背面のSTATUSインジケータには、システムの状態が表示されます。



インジケータの表示	システムの状態
白の点灯	サウンドバーに接続されています
オレンジの点灯(暗い)	省電力モード
オレンジの点滅	サウンドバーへの接続が解除されています
赤の点滅	ファームウェアエラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

## お手入れについて

---

 システムの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。

- システムの外装は付属のクリーニングクロスや柔らかい布でから拭きしてください。
- システムの近くでスプレーを使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

## お問い合わせ先

---

本製品に関するご不明点は以下までお願いいたします。

- 弊社WEBサイト : [global.bose.com/Support/AM300](https://global.bose.com/Support/AM300)
- Boseカスタマーサービス (電話: 0570-080-021、平日 9:30 ~ 17:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

---

## 保証

---

製品保証の詳細は 弊社Webサイトをご覧ください。また、製品のご登録をお願いいたします。ご登録は、<http://global.Bose.com/register>から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

本製品の保証内容は、オーストラリアおよびニュージーランドでは適用されません。オーストラリアおよびニュージーランドでの保証の詳細については、弊社Webサイト ([www.bose.com.au/warranty](http://www.bose.com.au/warranty)または[www.bose.co.nz/warranty](http://www.bose.co.nz/warranty))をご覧ください。

---

## 仕様

---

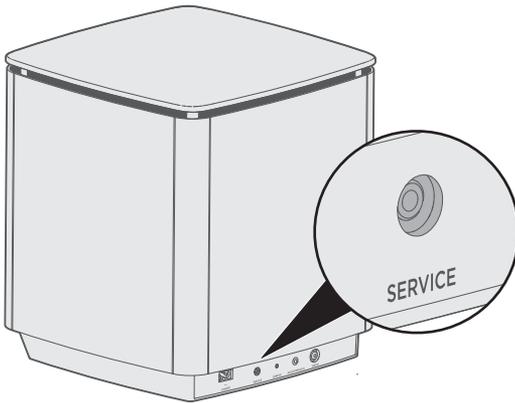
入力電源定格: 100 ~ 240V ~ 50/60 Hz、180W

---

## SERVICE 端子について

---

SERVICE 端子はサービス専用です。この端子にケーブルを接続しないでください。



## 故障かな？と思ったら

---

ベースモジュールに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- ベースモジュールと SoundTouch® 300 soundbarの電源コードを抜き、30秒間待つてから、通電している電源コンセントに差し込みます。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- システムのステータスインジケータの状態を確認します(15ページを参照)。
- SoundTouch® 300 soundbarを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。
- SoundTouch® 300 soundbarが正しく動作するように、無線ルーターやモバイル機器の推奨通信範囲内へ移動します。
- 設置ガイドに沿ってベースモジュールを設置します(7ページを参照)。

問題が解決しない場合は、Boseカスタマーサービスにお問い合わせいただく前に、「故障かな？と思ったら」をご確認ください。この表は、ボーズ製品をご利用の際に発生する可能性のある一般的な問題を特定し、それを解決するために用意されたものです。

## 故障かな？と思ったら

---

次の表には、一般的な問題の症状と、考えられる対処方法が記載されています。

症状	対処方法
音が途切れる/ 聞こえない	<ul style="list-style-type: none"><li>• システムのミュートを解除します。</li><li>• 音量を上げます。</li><li>• サウンドバーのHDMI™ケーブルがテレビの<b>ARC</b>または<b>Audio Return Channel</b>と表示されている端子に接続されていることを確認します。HDMI (ARC)端子がない場合は、光ケーブルを使用してサウンドバーを接続します(SoundTouch® 300の取扱説明書を参照)。</li><li>• サウンドバーの光ケーブルをテレビの音声出力(<b>Output</b>または<b>OUT</b>)端子に接続します。音声入力(InputまたはIN)端子には接続しないでください。</li><li>• テレビの音声出力が有効になっており、接続した機器の音が聞こえることを確認します(テレビの取扱説明書を参照)。</li><li>• 外部機器をテレビに接続している場合は、下記の点をご確認ください。<ul style="list-style-type: none"><li>- テレビの入力を正しく選択します(SoundTouch® 300の取扱説明書を参照)。</li><li>- ソース機器を直接サウンドバーに接続し、SoundTouch® appで適切な設定を選択してソース機器から直接再生します(SoundTouch® 300の取扱説明書を参照)。</li></ul></li></ul>

症状	対処方法
音質が良くない、音が歪む	<ul style="list-style-type: none"><li>別のソース機器で試してみます。</li><li>ベースモジュールから保護フィルムをすべて剥がします。</li><li>ADAPTIQ® 自動音場補正を実行します(11ページを参照)。</li></ul>
低音が強すぎる/弱すぎる	<ul style="list-style-type: none"><li>システムの低音を調整します(13ページを参照)。</li><li>ADAPTIQ 自動音場補正を実行します(11ページを参照)。</li><li>ベースモジュールを壁や部屋の隅から離します。</li></ul>

故障かな？と思ったら

## ADAPTiQ® 自動音場補正を完了できない

音声ガイドから以下のエラーメッセージが聞こえる場合があります。

エラーメッセージ	トラブル	対処方法
1	ADAPTiQ用ヘッドセットのマイクで音声を検出できません。	<ul style="list-style-type: none"><li>• すべてのケーブルをしっかりと接続します。</li><li>• ADAPTiQ用ヘッドセットのケーブルを外して、サウンドバーのADAPTiQ端子にしっかりと接続し直します。</li><li>• ADAPTiQ用ヘッドセットの上部にあるマイクの開口部が塞がれてないことを確認します。</li><li>• ADAPTiQ用ヘッドセットが破損している可能性があります。Boseカスタマーサービスに連絡してヘッドセットを交換してください。連絡先は、取扱説明書の「お問い合わせ先」をご覧ください。</li></ul>
2	室内がうるさすぎます。	室内が静かになったら、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行します。
3	ADAPTiQ用ヘッドセットがスピーカーに近すぎます。	ADAPTiQ用ヘッドセットをスピーカーから離します。
4	測定するリスニングポジションが近すぎます。	既に測定したリスニングポジションから30～60 cm離れた場所まで移動します。
5	ADAPTiQ用ヘッドセットが動いたために測定できません。	測定中は、頭を動かさないようにしてください。

問題を解決した後で、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行する必要があります(11ページを参照)。

このほかのエラーメッセージが聞こえた場合は、Boseカスタマーサービスにご連絡ください。連絡先は、取扱説明書の「お問い合わせ先」をご覧ください。





779666-0010

***BOSE***<sup>®</sup>  
*Better sound through research*<sup>®</sup>

©2016 Bose Corporation, The Mountain,  
Framingham, MA 01701-9168 USA  
AM779666 Rev. 01